

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2026年 3月 23日

事業所名 こども発達支援事業所
エール昭苑

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6名	—	・午前・午後の二部制で、少人数でのご利用となっています	・運動できる十分なスペースや個別スペースも確保しております
	2 職員の配置数は適切である	6名	—	・昨年度より送迎人数が増えましたが、法人内で連携を図っております	・基準以上に配置しています ・急な職員の欠勤時には、法人内で連携を図っております
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6名	—	・職員間で支援方法のばらつきが出ないように、環境設定や伝達方法の共通理解を図っています	・環境調整と支援方法の見直しを定期的に行い、個々の発達段階に応じた柔軟な支援体制を確立してまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6名	—	・パーテーションによってこどもの活動の空間を区切り、個別の部屋（個室）も活用しています	・毎日の清掃に加えてウイルス等の感染予防に努め、お子様の状況に合わせて環境を調整しております
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6名	—	・日々のミーティングやケース会議等で話し合いをしています	・定期的に職員会議を行い、情報共有の体制を整えております
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6名	—		・ホームページで公表しております 今後も保護者様のニーズに沿った支援となるよう努めてまいります
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6名	—		・ホームページにて公表しております
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6名	—	・改善内容の進捗を定期的に振り返り、業務改善に努めます	・第三者による外部評価を計画的に実施し、客観的な視点を取り入れた、継続的なサービスの質の向上に結び付ける体制を確立してまいります
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6名	—	・内部・外部研修の他、業務の合間の時間を活用したオンライン研修に取り組んでいます	・今後も内外部の研修に積極的に参加し、質の向上に努めてまいります
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6名	—	・入所時の体験利用やアセスメントを行い、定期的にモニタリングを行っています	・体験・見学時に、保護者様のニーズやご本人を取り組む環境についてお話を伺い、個別支援計画を作成してまいります
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5名	1名	・会議の時間が確保できていることで、より共通認識ができると感じます	・今後も発達過程を見える化シート等を用いて、支援してまいります ・専門職員による発達検査を保護者様のニーズに応じて行い、支援に繋げてまいります
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6名	—		・発達支援や家庭連携支援、地域連携支援の項目に分けて、個別支援計画を作成しています
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6名	—	・ケース会議で情報共有し、プログラムを立案して行っています	・個別支援計画に沿った支援を職員全員で共有し、統一した支援方法を行ってまいります
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5名	1名	・誰が見てもできるようなプログラムの手順書の作成が必要と考えます	・職員会議で全職員で提案しあってプログラムを構成しています
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6名	—	・お子様が主体的に参加できる、多様で魅力ある活動環境となるよう努めています	・一人ひとりの特性や成長に応じた柔軟なプログラムを提供して、活動が固定化しないよう努めてまいります
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6名	—	・アセスメントや日々の記録をもとに、活動内容や関わり方を具体的に支援計画に反映しております	・個と集団それぞれの場面での経験を通して、発達のバランスの取れた育ちを支えてまいります
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6名	—	・ボードを使って利用児名・利用時間・支援内容等、毎日共有しています	・支援前に昨日の振り返りと、本日の流れの確認を周知しております
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6名	—	・記録をもとに話し合いを行っています	・支援終了後には振り返りを行い、改善点などを話し合っております

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6名	—		・支援終了後には記録をつけ情報共有しております
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6名	—	・家庭での様子も踏まえ、計画見直しの判断材料として活用しています	・定期的なモニタリングを通して、支援の適切性を確認し、必要に応じて速やかに計画の見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6名	—		・児童発達支援管理責任者・担当職員が参加しています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6名	—	・法人内のこども園とは毎日の情報共有や、月に一回は連携会議を行っています	・必要な関係機関と連携を取り、安全に日々の支援が出来る様に努めてまいります
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		・該当者おりません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		・該当者おりません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6名	—	・連携会議を通して、情報共有と相互理解に努めています	・毎月、こども園との保育療育連携会議を行い、近隣の保育園訪問も行ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6名	—	・就学先の学校と移行支援書を通して情報共有・連携を図っています	・就学移行支援で児童の状況説明を行い、情報の共有に努めております(口頭・書面)
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6名	—	・関係機関との連携や研修を行っています	・必要に応じて情報共有を行ってまいります
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6名	—		・こども園内の事業所ですので、交流の機会は日々、豊富にございます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6名	—		・酒々井町および近隣市の協議会に、児童発達管理責任者が参加しております
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6名	—	・連絡帳を通して活動の様子を写真と文章で伝え、共通理解に努めています	・送迎時に児童の様子を伝え、必要に応じて電話連絡させていただいております
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4名	2名	・職員の研修の必要性を考えます	・現在は実施していませんが多数のご要望がありますので、今後、企画してまいりたいと思います
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6名	—	・契約時に口頭だけでなく書面を活用し、確認しながら丁寧に説明を行い、理解を深めてまいります	・保護者の皆様が十分に理解し、安心してご利用できるよう努めてまいります
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6名	—	・モニタリング時に日々の様子を伝て新たな目標設定を行い、支援計画の同意を得ています	・モニタリングをもとに個別支援計画を作成し、保護者様に説明したのち同意を得て、支援を行わせていただいております(最低6ヶ月毎)
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6名	—	・定期的な面談や連絡帳を通して、保護者が相談しやすい環境となるよう努めています	・保護者の不安や悩みに寄り添い、安心して相談できる関係性を構築してまいります
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6名	—	・今年度は回数を増やしていきたいと思っております	・今後、保護者会を開催し、情報交換・話し合いの場を設けてまいります
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6名	—		・迅速かつ適切な対応を徹底し、信頼関係の維持・向上に努めてまいります ・児童発達管理責任者が苦情相談窓口になっております
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4名	2名	・定期的な会報はございませんが、連絡事項は書面で配布しています	・今後、検討してまいります
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6名	—	・個人情報管理は鍵付き書庫にて保管しています	・個人情報の適切な管理を徹底し、情報漏えい防止に努めてまいります

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6名	—	・お子様の特性に応じて（視覚優位・聴覚過敏・理解度等）に応じて、視覚支援やゆっくり丁寧な対応を心がけています	・多様なコミュニケーション手段を活用し、円滑な情報共有と相互理解の促進を図ってまいります
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4名	2名		・検討させていただきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6名	—	・各種マニュアルは常時間閲覧可能です ・訓練については連携会議時に行っています	・職員間では周知していますが、保護者様への周知に関しては、今後の面談時や保護者会等でお知らせいたします
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6名	—	・月に一度、こども園の活動に参加しています	・こども園の行事として毎月、参加しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6名	—	・ご利用開始前に、職員間で情報共有・周知しています	・職員間での情報共有を徹底いたします
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6名	—	・ご利用開始前に、職員間で情報共有・周知しています	・アレルギーや服薬についての情報共有を職員間で徹底周知いたします
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6名	—	・法人内で情報共有し、事故を未然に防止する対策に努めています	・該当事例ごとに検証しております
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6名	—	・研修に参加し、会議内にて周知しています	・研修に参加し、虐待防止マニュアルをもとに職員間で統一してまいります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6名	—	・保護者には、説明させていただいております	・契約時に身体拘束等の説明をし、承諾を得ております 現在は該当者はいません